

# ジェイアールバス東北本部

第37号

2021年6月2日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内  
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983  
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

## 申9号「2021年度夏季手当等に関する申し入れ」 趣旨説明を行う!!

ジェイアールバス東北本部は、2021年6月2日、申9号「2021年度夏季手当等に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

- ・ジェイアールバス東北会社の期末手当の基準ともなっている2.45ヶ月で生活設計をしている組合員・社員が非常に多い。要求満額回答を求める。
- ・厳しい経営状況は認識しているが、今年の期末手当、定期昇給の減額で生活が苦しくなっている。
- ・会社の将来や今後の生活に不安を感じている社員が多く、すでに我慢の限界にきている。
- ・コロナ禍のなか、感染のリスクを抱えながらも安全・安定輸送に努め、地震による新幹線代行輸送にも助勤等で協力し社員一丸となり取り組んできた。
- ・古川・秋田支店の業務移管など効率化施策に協力してきた組合員・社員の努力に報いるべきである。
- ・厳しい経営状況のなかで会社存続のためには、経営側から見れば人件費の抑制も必要であるが、組合員・社員の奮闘があるからこそ会社が成り立っている。会社の将来を考えれば人への投資は不可欠であり、組合員・社員の最低限の生活を守るべきである。
- ・定期昇給、期末手当の減額によりジェイアールバス東北の魅力が失われている。これまで育ててきた優秀な人材が退職し、今回の夏季手当の回答次第では退職を考えている社員もいる。会社の将来にも関わる重要な交渉であると捉えている。

組合

会社

- ・1年以上にも及ぶコロナ禍での社員の皆さんの協力と日々の安全・安定輸送に尽力して頂いていることに感謝申し上げます。
- ・古川、秋田の業務移管などの効率化施策により経費削減に繋がっている。結果として前年度の赤字が当初見込んでいた16億から14億1500万に抑えることができた。
- ・2019年対比で4月が42パーセント、ゴールデンウィークについても36パーセントであり、要求に対し厳しい回答になるかもしれない。
- ・社員のモチベーション向上のためには期末手当の支給も確かに必要であるが、会社の維持・存続が重要である。500人の社員を路頭に迷わせるわけにはいかない。
- ・しかし、そのなかで乗務員連続勤務手当新設など、社員の負担軽減のため労働環境の整備に力を入れてきた。また、経費上の問題もあるが、単身赴任者を2年で地元に戻すなど社員の負担軽減に今後も継続して取り組んでいく。

**組合員と家族の生活を守るため、要求実現に向けて  
全組合員の力を結集させよう!!**